



とちぎマイスター「機械保全（設備診断作業）」技能の例

「圧縮機製造における生産性向上」

やまもと よしひこ
山本 良彦 栃木市 在住

ボッシュホームコンフォートジャパン株式会社 栃木事業所
製造部 圧縮機・冷機システム・電子システム製作課 (Tel 070-1587-1416)

圧縮機製造全般の設備維持管理

(現在の仕事)

圧縮機の製造工程である、①ポンプ構成部品の機械加工、②部品を内蔵する容器となる製缶部品の製作、③組立、④圧縮機表面塗装、⑤出荷前商用試験、⑥梱包・出荷 以上の6工程の製作主任を担当している。

(得意な分野)

圧縮機部品の加工精度、組立精度はミクロン単位で管理しており、製造品質の維持、向上には高度な技術が求められる。設備の安定稼働を支える保全技術と、製品の信頼性を確保する品質管理を統合的に運用することで、故障リスクの低減と品質向上を同時に実現する特異性を持つ分野である。

五感の警報で設備の異常を速やかに察知する感性を磨く

機械保全は日々の小さな変化に気づく力が土台です。後継者には、図面やデータだけに頼らず、音・振動・匂い・温度・見た目の“五感を働かせる”重要性を伝えてください。

作業の背景や狙いを言語化し、失敗事例も共有することで、再現性と判断力が育ちます。機械保全にチャレンジする仲間と共に技能を未来へ繋ぎましょう。さらに、現場で得た感覚値を記録し、個人の経験をチームの知識に変える仕組みづくりも重要です。

まずは、五感の警報で設備の異常を速やかに察知する感性を磨きながら、技能を未来へ受け継いでいきましょう。

